

スマホやビデオカメラで広く使用されている超光感度の受光素子である、Pinned Photodiodeは、もとSonyの萩原良昭が1975年に発明し、1977年～1978年に開発し、国際学会SSDM1977とSSDM1978で発表した優れたものです。超光感度の高い光電変換効率を持ちエネルギーを電気信号エネルギーに効率よく変換します。

Sony 1978 Pinned Photodiode reported at SSDM1978

SONY SSDM1978 Conference paper reported High Quantum Efficiency of about $\eta = 60\%$ at $\lambda = 400 \text{ nm}$.

